

株式会社住友倉庫第7回無担保社債グリーンボンドレポート

1. グリーンボンドの概要

発行年限／発行額	5年／50億円
発行日	2019年9月24日
資金の用途	以下の環境保全に関する設備投資に充当します（リファイナンスを含みます）。 1. 当社が保有する国内倉庫施設及び貸ビル等の空調機器の更新 2. 当社が保有する国内倉庫施設等の照明器具のLED化 3. 海外子会社が保有する倉庫施設の屋上への太陽光発電設備の設置
主幹事会社	SMB C日興証券株式会社、大和証券株式会社
Green Bond Structuring Agent	大和証券株式会社

2. 資金の充当状況

グリーンボンド調達資金の充当状況（2023年9月末時点）

調達総額	50億円
充当額	50億円
差引 未充当額	なし

3. 各プロジェクトの状況

(1) 電力使用量削減プロジェクト

①空調機器の更新

・概要

当社が保有する倉庫、貸ビル等を対象として施設の空調機器の更新を実施

< 関西地区の倉庫における実施例 >

室外機



室内機

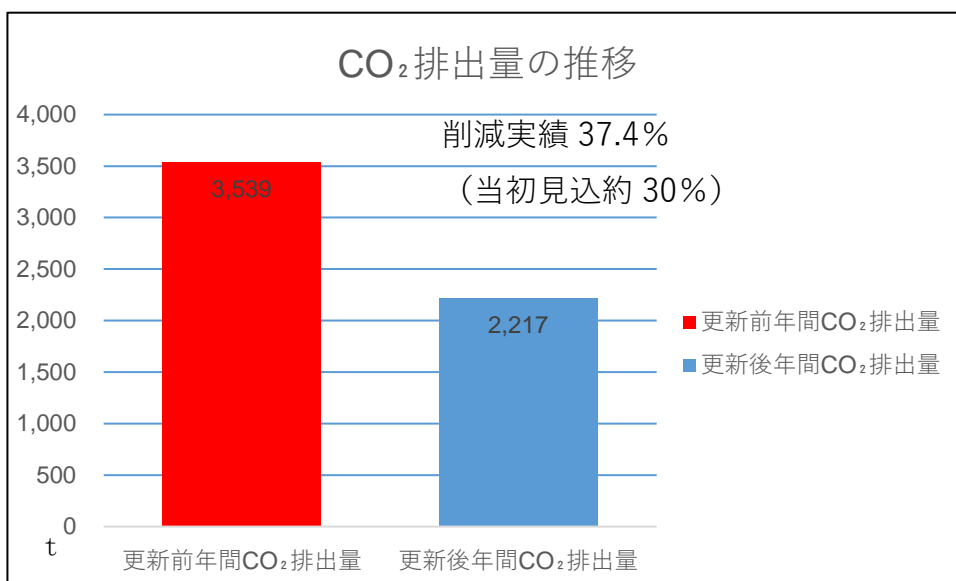


- ・更新した施設数及び空調機器台数（2023年3月末時点）

施設数	空調機器台数
66	室外機 525 台、室内機 1,151 台

- ・環境改善効果(理論値に基づく年間総量)

	2022 年度 削減実績 (更新前対比)
電力使用量	2,960,903 kWh
エネルギー使用量	3,008 GJ
CO ₂ 排出量	1,322 t



②照明器具のLED化

- ・概要

当社が保有する倉庫等を対象として照明器具のLED化を実施

< 中部地区の倉庫における実施例 >

更新前（蛍光灯）



LEDへ更新後

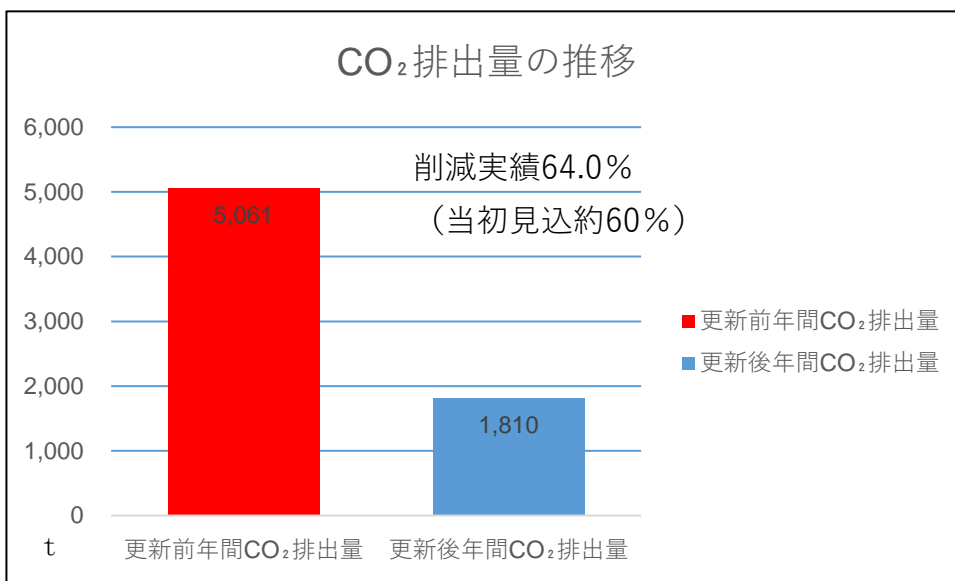


- ・更新した施設数及び照明器具台数（2023年3月末時点）

施設数	照明器具台数
60	54,378 台

- ・環境改善効果(理論値に基づく年間総量)

	2022年度 削減実績 (更新前対比)
電力使用量	8,110,866 kWh
CO ₂ 排出量	3,251 t



(2) 再生可能エネルギー発電プロジェクト

- ・概要

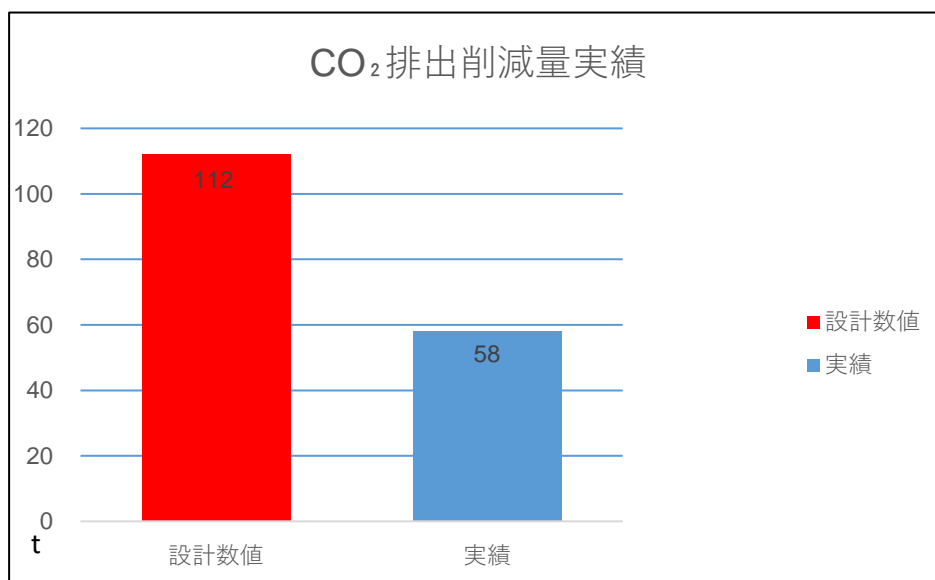
シンガポール住友倉庫会社が保有する倉庫の屋上に太陽光発電設備を設置

＜対象プロジェクト太陽光発電設備(シンガポールの倉庫)＞



- ・環境改善効果

	2022年4月～2023年3月実績
発電量	142,554 kWh
CO ₂ 排出削減量	58 t



なお、2020年に株式会社日本格付研究所(JCR)による第7回無担保社債の発行後レビューを受け、「JCR グリーンボンド評価」の最上位となる「Green 1」の評価を受けております。詳細については以下のJCRホームページをご覧ください。

<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/green/>

以上